

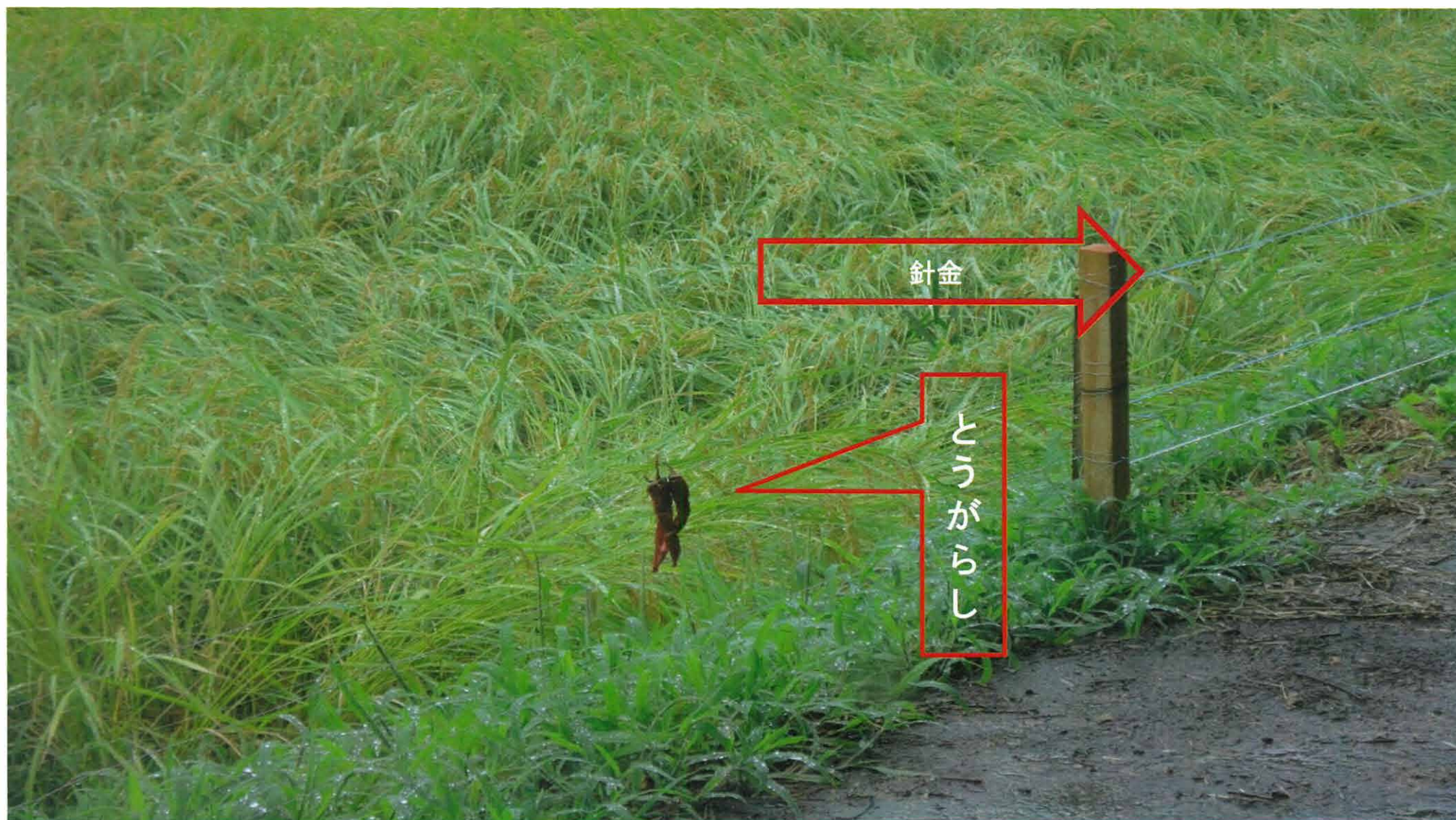
5年間携わって感じたこと

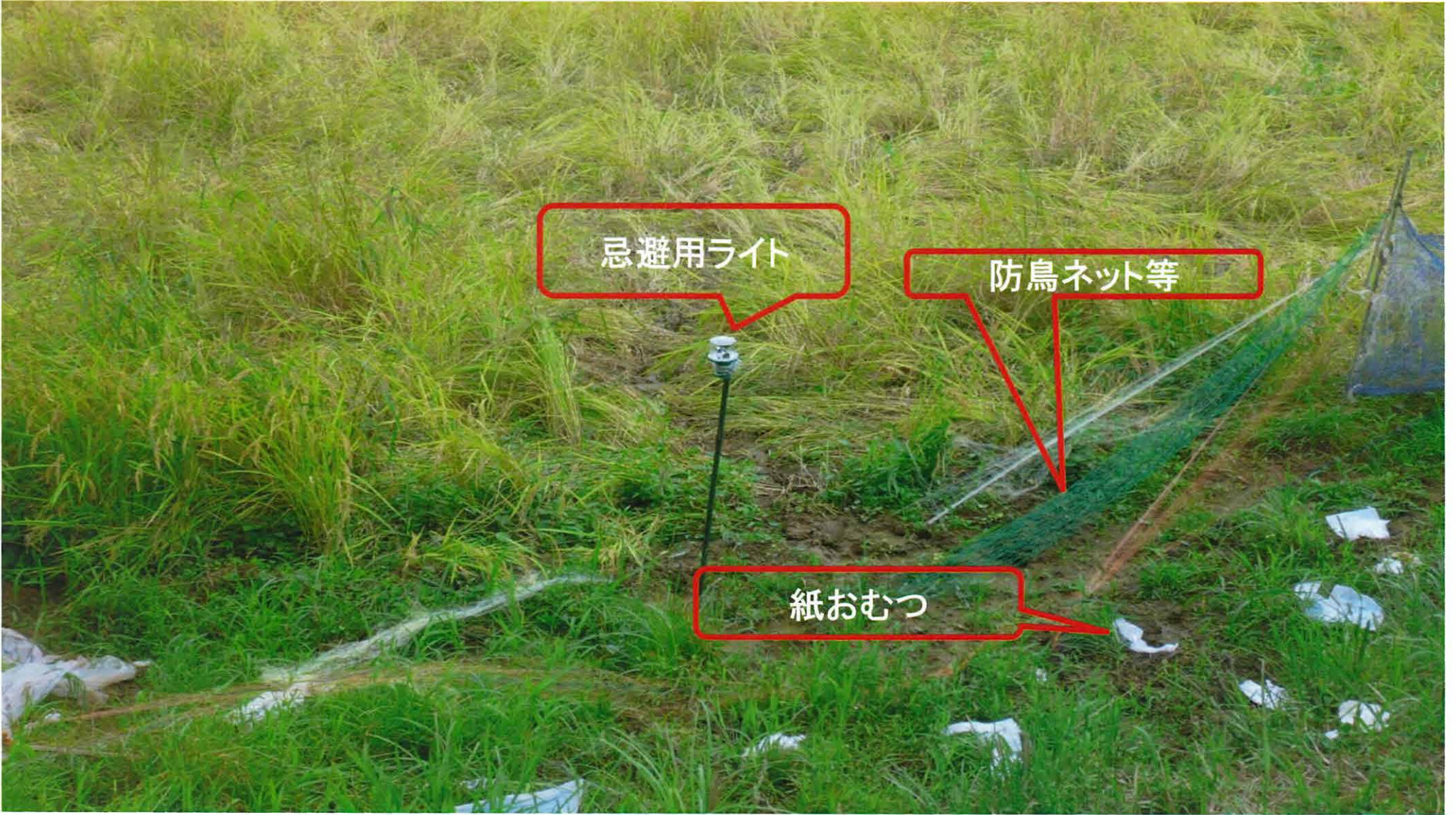
- ◎現地で被害農家さんの顔を見て話を聞く大切さ。（現場を知る）
- ◎誤ったイノシシの情報が氾濫。（イノシシより人の対策）
- ◎最初は、誰も正しい知識は持っていない。
- ◎交付金採択を待っていたら被害に遭ってしまう。（市単補助）
- ◎イノシシの正しい情報収集と対策の学習が必要。
- ◎正しい情報をいかに伝え、正しく対策させるか。（情報発信）
- ◎いくら捕獲しても、増える環境を残したままでは、増え続ける。
未来永劫捕獲を続けるのか？捕獲が持続可能な対策か？疑問
- ◎集落環境管理と被害防除の徹底で棲み分けに重点を置く。
イノシシの餌場にならない、寄り付かない集落を作る。

情報発信の大切さ

誤った情報による対策例

誤った対策に効果なし

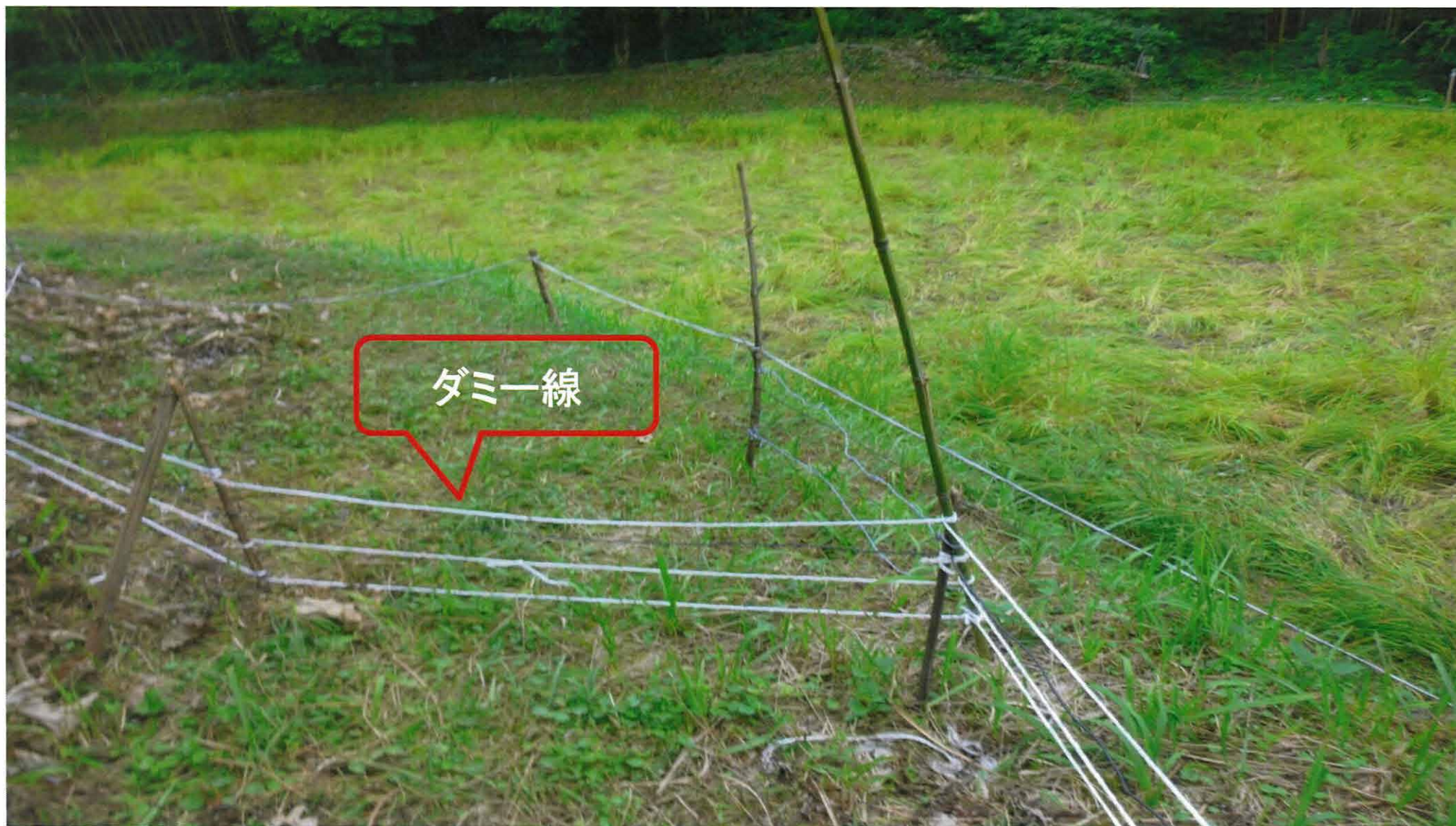




忌避用ライト

防鳥ネット等

紙おむつ



農作物被害防止研修会

平成26年度～継続



- ・ イノシシを正しく知る
- ・ 対策の順序を間違わない

- 1 番目 集落環境管理
- 2 番目 被害防除
- 3 番目 加害固体の捕獲

講師 西日本農業研究センター
江口 祐輔 先生

「野生動物との共生」講演会



小学生と父兄を対象とした講演会

子供達に**野生動物の**
行動について正しい
知識を持ってもらう

平成28年2月2日
市立久目小学校

平成28年7月7日
市立十二町小学校

講師 江口 祐輔 先生

女性農業者を対象にイノシシ研修

平成29年2月1日

女性の情報発信力はすばらしい！



農家のお母さん達は元気
直売所で野菜の販売や
家庭菜園で栽培を頑張っている
正しいイノシシ対策で畑を守ったら
市内のお母さん達に
正しい対策の情報を広げてくれる！

講師

西日本農業研究センター

江口 祐輔 先生

野生動物被害防止対策連携会議の開催

平成29年度

庁内関連部局を対象

第1回(8月9日)

- ・情報共有
- ・現状把握
- ・各部局で予算付け

第2回(12月22日)
野生動物の行動特性
研修会

講師 江口 祐輔 先生



市広報誌で鳥獣被害対策記事を1年間連載

平成28年度



地域住民が、正しい情報に基づき考えて行う対策こそ、効果的な対策となる

執筆 西日本農業研究センター 堂山 宗一郎 先生